

宮代会会報 第28号

日本工業大学

平成二十六年七月発行

新会長に

田中則弘氏（新潟県）が就任

去る七月五日、午後三時より、新潟県月岡温泉の「ホテル摩周」にて宮代会総会が開催されました。今回は三十二名（内八名はご夫妻で）の会員のご参加をいただきました。

総会は、田代会長、次いで柳澤理事長、波多野学長の挨拶の後、議事に移り、慎重審議の上、全て了承されました。新会長には田中則弘さん（第三十六代後援会長）が就任しました。

気軽に参加できる会に



会長 田中則弘

今年も猛暑の夏がやってきましたが、会員の皆様におかれましては、如何お過ごしでしょうか。日頃より格

別なるご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。

去る7月に、偶然にも私の地元でもあります新潟の月岡温泉で開催された総会におきまして、僭越ながら会長を仰せつかりました田中様でございます。微力ではございますが、皆様方のお力添えを賜りながら、職責を担って参りたいと思っておりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

宮代会は、日本工業大学後援会のOBで構成されている組織であり、後援会理事及び支部役員をお務めいただいた方々が会員となっております。また、それ以外でも、後援会会員であった方が入会を希望された場合には会員となることも可能です。

本会は、別記の事業報告にもありますように、年間数回の会合を行っており、年代も地域も幅が広く、理事長先生や学長先生も親しく参加して下さるとても珍しく貴重な会であると思えます。一人でも多くの方が気軽に参加しやすい環境づくりを心掛けて、さらに魅力ある会にしていきたいと思っておりますので、皆様方のご指導ご鞭撻のほど心よりお願い申し上げます。

議事の概要

一、平成二十五年度事業報告

六月一日 幹事会（大学）

七月六〜七日 総会（23名出席）

美ヶ原温泉・翔峰

十月十九日 幹事会（大学）
十二月八〜九日 臨時総会（27名出席）
奈良・飛鳥荘

平成二十六年 一月十二日 新春懇親会
（14名出席）
ヒルトン東京

二、平成二十五年度決算報告

別記の通り承認されました。

同監査報告

田川監事から監査結果の報告があり、承認されました。

三、平成二十六年度事業計画案

五月三十一日 幹事会

七月五〜六日 総会

十月十八日 幹事会

十二月七〜八日 臨時総会

平成二十七年 一月十一日

新春懇親会

四、平成二十六年度予算案

別記の通り承認されました。



総会であいさつをする波多野学長

五、平成二十六年度役員

次の通り承認されました。

（☆印は新任です）

会長 ☆田中 則弘（新潟）
幹事 横田 健一（千葉）
窪田 政幸（兵庫）
梅宮 昭（福島）

早坂 正実（宮城）
神戸 和幸（三重）
☆小林 正博（埼玉）

小笠原康雄（新潟）
鳥取 雄治（岡山）

佐藤 聡（山形）
松澤美佐子（東京）
小林 卓（神奈川）

降旗 一善（長野）
執賀喜代子（神奈川）
出井 栄一（埼玉）

松井夕美子（埼玉）
木次 順子（島根）
☆田代 公男（静岡）

☆齋藤 智（山形）
☆千葉 満（岩手）
田川 鋭治（静岡）

滝口 和喜（山形）
中村 麻子（神奈川）
小川 佳文（千葉）

柿本 千春（山口）
川島 敬司（神奈川）
伊藤 茂（大阪）

風間 光子（千葉）
以上、敬称略

*退任幹事

監事 田川 和喜（山形）

総勢 110名の大懇親会

総会終了後、宮代会、後援会、大学の懇親会が行われました。今回の参加者はナント総勢 110名！例年70名前後ですので驚きの人数です。恒例の集合写真を撮るのにもひと苦労。全員入りきる心配でしたが、A4サイズのプリントに 110名のお顔がしっかりとおさめられました。

そして今回も、各地から銘酒や銘菓、果物など、たくさん美味しいお土産を頂戴し、舞台上ズラリと並びました。舞台の前で、車座になってお酒を酌み交わす光景が微笑ましく、地域や年代を超えた「日工大ファミリーの輪」が更にまた大きく広がった夜でした。

旧笹川家住宅と新潟市歴史博物館を見学

翌日は、梅雨の晴れ間に恵まれ、恒例の見学ツアーに六十六名が参加しました。まずは、国の重要文化財に指定されている「旧笹川家住宅」へ。江戸時代に旧村上藩の大庄屋を務め、味方組八カ村を支配していた笹川家の旧屋敷です。表門



茅葺屋根が素晴らしい

は天正年間
に建築され
たもので、未
だに当時の
威風を見る
ことができ
ます。
信濃川が
見渡せるの

「ゆーとびあ」のレストランでランチをいただいた後、新潟市歴史博物館へ。ここには、波多野学長が製作された初代万代橋の模型が常設展示されています。製作者である学長から直接、生解説を聞くことができ、参加者は感激の声をあげていました。



橋の高さに目線を下げて解説する波多野学長(中央)

初代万代橋は長さ782m幅6.4mの木橋。大工延べ13,210人、総工費37,000円余。模型は万代橋が八木朋直の経営から県営に移管された1900(明治33)年頃の様子。縮尺1/150。

平成二十六年 会費納入のお願い

○年会費 壹万円(内七千円は積立)

○納入方法

① 郵便局より振込 (用紙同封)

② 銀行より振込

みずほ銀行 春日部支店

口座番号 (通)757091

受取人 日本工業大学宮代会

※八月末日までにお振り込みください

※お問合せ先 財務課主任 鈴木史朗

〇四八〇(三三)七五〇四

今回お届けの会報とともに以下のものを同封させていただきました。

○平成 26 年度会員名簿 ○会費振込用紙(郵便局用) ○後援会会報 96 号